

# 滋賀銀行グループ AI 利用に関する基本方針(AI ポリシー)

滋賀銀行グループ（滋賀銀行および関連会社。以下「当行グループ」という）は、パーパス「『三方よし』で地域を幸せにする」に基づき、AI を活用して金融サービスの品質向上と地域社会の課題解決に貢献します。AI は業務の高度化やお客さま価値の向上に寄与する一方で、誤判断の誘発、偽情報の拡散、偏り、情報漏えい、金融犯罪への悪用等のリスクも伴います。当行グループは、人間中心の考え方にに基づき、基本原則を遵守し、健全で信頼される AI 利活用を推進します。

## 1. 価値創造と地域社会への貢献

当行グループは、AI の健全な活用により、地域事業者、自治体、教育機関と連携し、金融の利便性向上、業務効率化、金融犯罪抑止、地域課題解決に資するサービスの創出を目指します。「三方よし」の精神のもと、AI の便益を広く地域へ還元します。

## 2. 適用範囲

本方針は、当行グループの役職員（出向者・派遣社員等を含む。以下「役職員」という）が、業務において AI の開発、提供および利用するすべての場面に適用します。

委託先、共同利用先、クラウドサービス等、第三者を通じて AI を利用する場合も、本方針に基づきます。

## 3. 基本原則

当行グループは、AI の利活用にあたり、以下の原則を遵守します。

### （1）人間中心・責任所在

役職員やお客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーの尊厳と自律を尊重し、多様な幸福実現のために AI を利用します。また AI が生成する偽情報・誤情報・偏向情報が社会に与えるリスクを認識し必要な対策に努めます。AI は業務支援の手段であり、重要な判断および最終責任は人間が負います。

### （2）安全性・リスク管理

AI 利用によりステークホルダーの生命、身体、財産、精神および環境等に危害が及ぶことの防止に努めます。利用目的および範囲を明確にし、目的外利用や不正利用を防止します。AI の開発、提供および利用において、想定されるリスクを確認し、必要な対策を講じます。

### （3）透明性・説明責任

AI の判断に関する検証可能性と説明可能性を確保し、ステークホルダーへ適切に情報提供できる透明性を確保し、説明責任を果たすよう努めます。

### （4）公平性・人権の尊重

特定の属性に基づく不当な差別や偏見を排除するとともに、AI に単独で判断させるだけではなく適切なタイミングで人間の判断を介在させることにより公平性の確保に努めます。

### （5）データ保護・情報セキュリティ

AI の開発、提供および利用において、当行グループの個人情報保護方針を遵守し、プライバシー保護に努めます。また安全に AI を利用するためのセキュリティ確保に努めます。

#### **(6) 法令・知的財産権の遵守**

関係法令ならびに著作権等の知的財産権を遵守し、AI の学習、利用においても権利侵害が生じないよう留意します。

#### **4. ガバナンス体制**

当行グループは、所管部署を中心として、リスク管理、法務・コンプライアンス、情報セキュリティ等の関係部門が連携し、AI 活用を適切に統制します。

AI の重要性や影響度に応じて、所定の管理を行い、経営として管理可能な状態を維持します。

#### **5. 教育・リテラシー**

当行グループは、役職員に対し、AI の特性や限界、遵守事項等に関する教育を継続的に実施し、適切な利活用が定着するよう努めます。

本方針は、法令・規制動向、社会的要請、技術進展および運用状況を踏まえ、適宜見直します。

以上

2026年4月1日 制定